

仙台北部道路
利府高架橋はく落対策設計

特 記 仕 様 書

令和6年10月

東日本高速道路株式会社 東北支社

仙台東管理事務所

第1章	総則	1
1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	2
1-3	テクリスへの登録	2
1-4	履行期間	2
1-5	資料の貸与	3
1-6	発注者または監督員が行う協議	4
1-7	計画工程表	4
1-8	調査等打合簿の作成及び提出について	5
1-9	工事記録情報の作成及び提出について	5
1-10	作業期間に関する事項	5
1-11	保安に関する事項	6
1-12	成果品	6
1-13	三者協議会について	6
第2章	業務細部に関する事項	7
2-1	業務の内容	7
2-2	現地踏査	7
2-3	維持修繕設計	7
2-4	橋梁補修設計	7
2-5	橋梁はく落対策設計 詳細図作成	8
2-6	施工計画検討	9
2-7	協議資料作成	9
2-8	設計打合せ	9
2-9	交通規制工	10
2-10	交通保安要員	11
2-11	移動足場	12
2-12	成果品	12
第3章	補足事項	13
3-1	現地立ち入りについて	13
3-2	業務の変更及び追加について	13

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 仙台北部道路 利府高架橋はく落対策設計

1-1-2 路線名 常磐自動車道、仙台東部道路、三陸自動車道、仙台北部道路

1-1-3 履行箇所 常磐自動車道 (山元 IC～亶理 IC)
 自) 宮城県亶理山元町太平北中新田 (288.9K P)
 至) 宮城県亶理郡亶理町逢隈中泉新田 (300.5K P)
 仙台東部道路 (仙台東 IC～仙台港北 IC)
 自) 宮城県仙台市若林区荒井東 (20.8K P)
 至) 宮城県仙台市宮城野区中野杉本 (25.9K P)
 三陸自動車道 (仙台港北 IC～利府 JCT)
 自) 宮城県仙台市宮城野区中野杉本 (0K P)
 至) 宮城県宮城郡利府町加瀬新一本杉 (4.0K P)
 仙台北部道路 (利府 JCT～利府しらかし台 IC)
 自) 宮城県宮城郡利府町加瀬新一本杉 (0K P)
 至) 宮城県宮城郡利府町沢乙唄沢 (5.2K P)

1-1-4 主な履行内容

現地踏査	1 式
維持修繕設計 橋梁検査路	1 橋
橋梁補修設計 事前調査	5 箇所
橋梁補修設計 補修計画検討	5 箇所
橋梁補修設計 詳細図作成	10 枚
橋梁はく落対策設計 詳細図作成	14 枚
施工計画検討	1 箇所
協議資料作成	1 箇所
設計打合せ	1 式

1-1-5 対象構造物

No.	橋梁名	道路名	IC 間	上部工形式	上下線	橋長
1	吉田橋	常磐自動車道	山元 IC～亶理 IC	鋼 5 径間連続非合成箱桁	上下線 (暫定)	315.8m
2	仙台東部高架橋 A1～P3	仙台東部道路	仙台東 IC～仙台港北 IC	鋼 3 径間連続箱桁	上下線	203.0m
3	仙台東部高架橋 P66～P69			鋼 3 径間連続箱桁	上下線	163.0m
4	仙台東部高架橋 P80～P84			鋼 4 径間連続箱桁	上下線	268.0m

No.	橋梁名	道路名	IC 間	上部工形式	上下線	橋長
5	多賀城高架橋 P7～P8	三陸自動車道	仙台港北 IC～ 利府 JCT	PC 単純ポストテンション 方式 T 桁	上り線	25.5m
6	多賀城高架橋 P127-A2			鋼 4 径間連続鈑桁橋	上り線	128.0m
7	利府高架橋 P1～P4	仙台北部道路	利府 JCT～ 利府しらかし台 IC	PC3 径間連続ラーメン箱桁	上下線	256.0m

1-2 適用する共通仕様書

契約書第 1 条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和 6 年 7 月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書 1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が 100 万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書 1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

（１）受注時は、受注者が設定した業務の始期から 15 日以内

（２）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から 15 日以内

（３）完了時は、完了届提出日の翌日から 15 日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が 15 日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業

務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式－1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 350 日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 80 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1－5 資料の貸与

共通仕様書 1－15－1 及び 5－2－3 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
吉田橋完成図	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (TIFF データ)
仙台東部高架橋完成図	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (TIFF データ)
多賀城高架橋完成図	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (TIFF データ)
利府高架橋完成図	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (TIFF データ)
設計報告書 はく落対策設計図面	仙台東管理事務所管内 排水施設設計	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子成果品
設計報告書 耐震補強設計図面	三陸自動車道 多賀城高架橋耐震補強設計	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子成果品
常磐自動車道 仙台東管内施設管理用図面 (施設諸設備)	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (DocuWorks)
仙台北部道路 仙台東管内施設管理用図面 (施設諸設備)	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (DocuWorks)
三陸縦貫自動車道 仙台東管内施設管理用図面 (施設諸設備)	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (DocuWorks)
仙台北部道路 仙台東管内施設管理用図面 (施設諸設備)	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (DocuWorks)
詳細点検結果	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子データ (DocuWorks)
深淺測量結果	—	契約締結の日の翌日より 7 日以内	電子成果品

1-6 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書1-16「関係官公署及び関係会社への手続」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

(1) 河川関係

位置	河川名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
多賀城高架橋 P128-P129	二級河川 勿来川	宮城県	耐震補強施工箇所が河川区域内であるため、河川法に基づく協議が必要	設計期間中に適宜協議を実施

1-7 計画工程表

1-7-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書1-14-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式2)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者で協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書1-5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書1-6「発注者または監督員が行う協議」に示す協議完了予定時期、共通仕様書1-9-3「照査の実施」に基づく照査の実施時期及び共通仕様書1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

項目	数量	単位	摘要
現地踏査	1	式	
維持修繕設計 橋梁検査路	1	橋	
橋梁補修設計 事前調査	5	箇所	
橋梁補修設計 補修計画検討	5	箇所	
橋梁補修設計 詳細図作成	10	枚	
橋梁はく落対策設計 詳細図作成	14	枚	
施工計画検討	1	箇所	
協議資料作成	1	箇所	
設計打合せ	1	式	
報告書作成	1	式	

1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第1-4号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書1-14-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査

等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1－8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1－9 工事記録情報の作成及び提出について

- (1) 共通仕様書 1－4 4－1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 5 年 7 月版とする。
- (2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式—3）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。
- (3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路㈱東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1－10 作業期間に関する事項

1－10－1 規制時間

交通規制可能時間は下表に示す時間内とする。なお、監督員の指示により規制開始の延期または途中で規制解除（工事中止）を行うことがある。また、受注者は、交通規制による著しい渋滞若しくは、その恐れがある場合や、交通の危険及び異常気象時には、監督員の指示により、一時規制を解除（工事中止）する措置を講じなければならない。これらの措置に要する費用は、監督員と受注者で協議し定めるものとする。

対象路線	作業内容	規制形態	車線規制 可能時間帯	摘要
県道 仙台塩釜線	橋梁補修設計 事前調査	車線規制	22：00～ 翌 6：00	仙台東部道路と並行

1-1-1 保安に関する事項

1-1-1-1 調査用車両の区別

受注者は調査に使用する車両と一般車両の区別をするため、以下に示す調査用車両の標示と同等以上の標示板を設置するものとする。なお、標示内容の変更を監督員が指示した場合、受注者はその指示に従わなければならないものとする。

また、高速道路の交通規制内へ出入りする全ての車両は、一般車両と識別できるよう黄色回転灯を備えたものとする。

<div>仙台北部道路 利府高架橋はく落対策設計 調査用車両 受注者名(□□)</div>	材質：耐水合板、強化プラスチック、 布製又はラミネート加工した印刷物等 色彩：下地黄色、文字黒色 寸法：A3 判程度 字体：丸ゴシック体（受注者名の文字の大きさは、 他の文字より大きめにする） □□：受注者車両の通し番号
---	--

参考図 調査用車両標示板

1-1-2 成果品

共通仕様書 1-46-1 「成果品」より下記のとおりとする。

- (1) 受注者は、業務完了届提出の概ね30日前までに、成果品をとりまとめた上で調査等打合せ簿にて監督員へ報告するものとする。
- (2) 成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- (3) 報告書等の成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など（当該調査等以降に実施される業務）に配慮すべき事項について整理し、とりまとめるものとする。なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。

1-1-3 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、本特記仕様書1-1-5に示す対象橋梁について、下部工および桁の損傷調査、損傷状況の把握、対策工法の検討及び工事実施のための設計計算、数量計算、図面作成、施工計画の策定、耐震補強工事を行うにあたり必要となる河川協議用資料を作成するものである。

2-2 現地踏査

現地踏査とは、本業務の実施に必要な現地の状況、既設橋梁の損傷状況を把握することをいう。なお、貸与する既存の資料等と現地状況とに相違がある場合は、速やかに監督員に報告するものとする。現地踏査の検測数量は、1式とする。

なお、現地踏査に要する日数は2日を想定しているが、別途考慮する必要がある場合は作業計画書の提出時に監督員と協議し定めるものとする。

2-3 維持修繕設計

2-3-1 維持修繕設計

共通仕様書7-3-3「設計内容」に示す維持修繕設計の内容は下表のとおりとする。

種別	数量	対象橋梁	対象箇所	備考
橋梁検査路	1橋	多賀城高架橋	下り P7-P8	下部工に取付ける検査路 P7側・P8側の2箇所

2-4 橋梁補修設計

2-4-1 事前調査

事前調査とは、下記に示す調査対象箇所において、高所作業車を用いて補修工法の比較検討に必要なとなる鋼桁の腐食・減肉状況の把握・調査結果の取りまとめを行うものである。

種別	対象橋梁	対象箇所		作業可能時間
事前調査	仙台東部高架橋	上り P2-P3	縦桁腐食・層状剥離 1箇所	23時～翌5時
		下り P66-P67	主桁腐食・層状剥離 1箇所	
		上り P82-P83	縦桁腐食・層状剥離 1箇所	
		下り P82-P83	主桁腐食 1箇所 縦桁腐食 1箇所	

2-4-2 補修計画検討

橋梁補修設計 補修計画検討とは、設計図書及び監督員の指示に従って、下表に示す対象箇所の補修を実施するために必要な補修工法の立案、比較検討、施工計画の策定を行うことをいう。

補修計画の検討にあたっては、必要な資料の収集、整理及び本特記仕様書2-4-1「事前調査」の結果の整理を行い、対象橋梁の損傷状況等を把握するものとする。

種別	数量	対象橋梁	対象箇所	備考
補修計画検討	5 箇所	仙台東部高架橋	上り P2-P3	縦桁腐食・層状剥離 1 箇所
			下り P66-P67	主桁腐食・層状剥離 1 箇所
			上り P82-P83	縦桁腐食・層状剥離 1 箇所
			下り P82-P83	主桁腐食 1 箇所 縦桁腐食 1 箇所

2-4-3 詳細図作成

詳細図作成とは、本特記仕様書2-4-2「補修計画検討」の結果を踏まえて、設計条件の整理、数量計算、図面作成（補修全体一般図、補修図、仮設図）を行うことをいう。なお、貸与資料である完成図はT I F F形式であり、図面作成を行うにあたり完成図をT I F F形式からDWG形式に変換するものとする。

種別	数量	対象橋梁	図面の種類	備考
詳細図作成	10 枚	仙台東部高架橋 P2-P3	補修全体一般図 1 枚	
			補修工詳細図 1 枚	
			仮設図（足場） 1 枚	
		仙台東部高架橋 P66-P67	補修全体一般図 1 枚	
			補修工詳細図 1 枚	
			仮設図（足場） 1 枚	
		仙台東部高架橋 P82-P83	補修全体一般図 1 枚	
			補修工詳細図 2 枚	
			仮設図（足場） 1 枚	

2-5 橋梁はく落対策設計 詳細図作成

橋梁はく落対策設計 詳細図作成とは、設計図書及び監督員の指示に従って、下表に示す対象橋梁のはく落対策を施工するために必要な設計条件の整理、数量計算、図面作成（補修全体一般図、詳細図、仮設図）を行うことをいう。なお、貸与資料である完成図はT I F F形式であり、図面作成を行うにあたり完成図をT I F F形式からDWG形式に変換するものとする。なお、吉田橋においては仙台東管理事務所管内 排水施設設計の成果品に基づき仮設図の作成を行うものとする。

種別	数量	対象橋梁	図面の種類	備考
詳細図作成	14 枚	利府高架橋 P1～P4	補修全体一般図 1 枚 はく落対策工詳細図 3 枚 仮設図（足場） 4 枚	
		多賀城高架橋 P7～P8	補修全体一般図 1 枚 はく落対策工詳細図 3 枚 仮設図（足場） 1 枚	
		吉田橋	仮設図（足場） 1 枚	

2－6 施工計画検討

施工計画検討とは、近接する河川の流量や施工時水位の算定、障害率、施工時流下能力の確認等を行い、耐震補強工事の施工に必要な工事用進入路、土砂の掘削、仮置き、埋戻し、護岸の撤去設置等の検討、図面作成、数量算出を行うことをいう。

河川区域内での耐震補強工事は、非出水期（11 月～翌年の 5 月）での施工を予定しているため、工程及び施工ステップに関する検討も行うものとする。

施工計画検討の検測数量は、1 箇所とする。

種別	対象箇所	摘要
施工計画検討	多賀城高架橋	非出水期での施工 P128 護岸の撤去設置が必要

2－7 協議資料作成

協議資料作成とは、本特記仕様書 2－6 の内容を河川管理者との協議資料として整理するとともに河川占用申請書類の作成まで行うことをいう。

協議資料作成の検測数量は、1 箇所とする。

協議資料作成で作成する項目は下表を参考とする。

作成項目	摘要
河川占用協議書類	多賀城高架橋 P128～P129

2－8 設計打合せ

打合せは下記のとおり行うものとする。

2－8－1 打合せ場所

打合せは東日本高速道路株式会社東北支社仙台東管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

2－8－2 打合せ回数

打合せの回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め 5 回とする。打合せの検測数量は 1 式とし、履行状況により打合せ回数が増減した場合や、業務の追加、変更に伴い、打合せを追加する必要が生じる場合の取扱いは、別途監督員と受注者間で協議の上決定するものとする。

2-8-3 設計業務 交通費

設計業務 交通費には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費を含むものとする。なお業務に大幅な変更が生じた場合、交通費の増減に伴う費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

2-9 交通規制工

2-9-1 定義

交通規制工とは、一般道の路上で調査等を行うにあたり、一般通行車両及び調査関係者の安全を確保することを目的として、規制機材の設置、保守及び撤去することをいう。

2-9-2 種別

交通規制工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。

単価表の項目	内 容
交通規制工	橋梁補修設計 事前調査に必要な、一般道の交通規制を行うものをいう。規制材、夜間照明等、本規制に必要な規制材等を含む。

本記仕様書2-3-2「種別」に規定する交通規制箇所、交通規制内の施工内容及び規制時間等については下表のとおりとする。

単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の作業内容	規制時間	規制材保守を行う交通誘導警備員の休憩時間帯における交代要員の有無
交通規制工	県道 仙台塩釜線 (仙台東部高架橋)	橋梁補修設計 事前調査	22:00～翌6:00 (23:00～翌5:00)	必要 (単価表の項目に含む)

※上表の規制時間とは、1回当たりとして検測する交通規制工のうち、規制設置開始（標識設置開始）から規制撤去完了（標識撤去完了）までの時間である。なお、（ ）内は、交通規制内の作業可能時間を示す。

2-9-3 交通規制計画

受注者は、調査等の着手前に設計図書及び監督員の指示に従い、具体的な交通規制の実施内容、安全対策、緊急時対応等について、施工計画書に記載し監督員に提出するものとする。

また、受注者は交通規制工実施報告書（本特記仕様書様式-4）を作成し、監督員に提出するものとする。

2-9-4 数量の検測

交通規制工の数量の検測は、監督員が認めた設計数量（回）で行うものとする。

2-9-5 支払

交通規制工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1回あたりの契約単価で行うものとする。

この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う交通規制の設置、保守及び撤去に要する材料・労力・機械器具等交通規制工を行うために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

2-10 交通保安要員

2-10-1 定義

交通保安要員とは、供用中の一般道の路上において、一般通行車両及び調査関係者の安全を確保することを目的として、交通の監視、交通の誘導及び機械等の誘導に配置することをいう。

2-10-2 種別

交通保安要員とは、供用中の一般道の路上において、一般通行車両及び調査関係者の安全を確保することを目的として、交通の監視、交通の誘導及び機械等の誘導に配置することをいう。

交通保安要員の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。

種別	内容
交通誘導警備員 A	警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員または二級検定合格警備員以外の交通の誘導に従事するもの。
交通誘導警備員 B	警備業者の警備員で、交通誘導警備員 A 以外の交通の誘導に従事するもの。

交通保安要員の配置場所、配置人数、配置時間及び期間は下表のとおりとする。

単価表の項目	配置場所		配置人数	交代要員	配置時間	配置期間
交通誘導警備員 A	県道 仙台 塩釜線	・ 規制箇所	1 人	—	23:00～翌 5:00	交通規制 実施の都度
交通誘導警備員 B	県道 仙台 塩釜線	・ 仙台東部高架橋 A1-P3、P80-P84（下り線） 規制箇所	3 人	1 人	23:00～翌 5:00	交通規制 実施の都度
		・ 仙台東部高架橋 P66-P69、P80-P84（上り線） 規制箇所	2 人	1 人	23:00～翌 5:00	交通規制 実施の都度

2-10-3 交通保安要員計画

受注者は、作業着手前に設計図書及び監督員の指示に従い、具体的な交通保安要員の配置計画等について、施工計画書に記載し監督員に提出するものとする。

なお、監督員が追加の交通保安要員の配置を指示した場合、これに要する費用については、監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

また、受注者は交通保安要員実施報告書（本特記仕様書様式-5）を作成し、監督員に提出するものとする。

2-10-4 数量の検測

交通安全要員の数量の検測は、監督員が認めた設計数量（人・日）で行うものとする。

2-10-5 支払

交通安全要員の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1人・日当たりの契約単価で行うものとする。

この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う交通安全要員の労力等本業務を行うために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

2-11 移動足場

移動足場とは、本特記仕様書2-4-1 事前調査のために使用する移動足場（高所作業車）をいう。検測数量は台・日とする。なお、移動足場には事前調査に必要な材料・労力・機械器具等本作業に必要なすべての費用を含むものとする。

種別	機種	規格	備考
移動足場	トラック架装リフト (ブーム型)	12m～16m未満	仙台東部高架橋 上り P2-P3 1台 下り P66-P67 1台 上り P82-P83 1台 下り P82-P83 2台

2-12 成果品

成果品は下記の通りする。

項目	出力用紙 の大きさ	提出部数		摘要
		監督員	NEXCO 総研	
報告書（紙）	A4	1	—	紙ファイルまたはキングファイル
報告書（電子データ）	—	2	1	CD-R または DVD-R

報告書（紙）はA4判を基本とするが、A4判では判読や表現等が困難な場合は、A3判等に変更してもよい。貸与資料は報告書（電子データ）に貸与データとして記録するものとし、報告書（紙）には添付しないものとする。

第3章 補足事項

3-1 現地立ち入りについて

現地立入の際は、事前に当社と十分な打合せを行わなければならない。なお、高速道路敷の立木等の伐採はできる限り行わないよう配慮し、伐採が必要な場合は、事前に当社に連絡し、その指示に従うものとする。

3-2 業務の変更及び追加について

下記に示す事項については、関連する事項の業務内容を変更または追加する場合がある。これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。

- (1) 関係機関との協議や現地踏査の結果に基づく補修計画検討、橋梁修繕設計、施工計画検討、協議資料作成の変更及び追加
- (2) 補修計画検討における検討結果に基づく詳細図作成の変更及び追加

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 仙台北部道路 利府高架橋はく落対策設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

監督員
_____ 殿

受 注
管理技術者
_____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名	東日本高速道路(株) 東北支社 仙台東管理事務所		
調 査 等 名	仙台北部道路 利府高架橋はく落対策設計		
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。

令和 年 月 日

監督員

殿

受注者

管理技術者

交通規制工実施報告書（令和〇〇年〇月分）

（調査等名）

標記調査等について、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

実施日	実施場所	交通規制工の 単価表の項目	備 考

以 上

（注１）報告内容については、監督員からの要請に応じて提出できるよう、受注者にて保管するものとする。

令和 年 月 日

監督員

殿

受注者

管理技術者

交通安全要員実施報告書（令和〇〇年〇月分）

（調査等名）

標記工事について、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

実施日	配置場所	交通安全要員の 単価表の項目	配置人数	備 考

以 上

（注1） 報告内容については、監督員からの要請に応じて提出できるよう、受注者にて保管するものとする。なお、交替要員については含めないものとする。